



平成31年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年3月8日

上場会社名 日東製網株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3524 URL <http://www.nittoseimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 北方 浩樹

TEL 084-953-1234

四半期報告書提出予定日 平成31年3月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年4月期第3四半期の連結業績(平成30年5月1日～平成31年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年4月期第3四半期	12,455	5.0	177	59.7	260	50.4	117	68.2
30年4月期第3四半期	13,117	0.7	439	48.9	524	31.9	369	19.7

(注) 包括利益 31年4月期第3四半期 51百万円 (%) 30年4月期第3四半期 398百万円 (8.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年4月期第3四半期	45.28	
30年4月期第3四半期	142.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年4月期第3四半期	20,440	5,386	25.7	2,022.33
30年4月期	20,433	5,568	26.6	2,093.55

(参考) 自己資本 31年4月期第3四半期 5,245百万円 30年4月期 5,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年4月期		0.00		50.00	50.00
31年4月期		0.00			
31年4月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年4月期の連結業績予想(平成30年5月1日～平成31年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	5.2	1,150	15.3	1,000	2.0	750	4.4	289.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年4月期3Q	2,605,000 株	30年4月期	2,605,000 株
期末自己株式数	31年4月期3Q	11,284 株	30年4月期	11,220 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年4月期3Q	2,593,757 株	30年4月期3Q	2,593,909 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国・中国の貿易摩擦の動向や英国のEU離脱による影響等世界情勢のリスクが懸念される中、また、国内においても自然災害が相次ぎ経済に対する不透明感があるものの、政府の経済政策により、国内企業の業績や雇用・所得環境の改善が見られるなど、回復基調で推移しております。

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、猛暑や台風などかつてないほどの異常気象による漁業関連業者への影響や一部水産資源の漁獲量の規制など厳しい状況にありますが、世界的な魚食ブームの拡大により、輸出額は年々増加傾向にあるなど、経営環境は概ね安定しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、養殖網や海苔網の受注は増加しましたが、定置網部門の売上高が期末以降へずれ込んだこと及び近海旋網や海外旋網漁業の不漁の影響により旋網部門の受注が減少し、前年同期と比べて減少しました。営業利益は、生産の省力化を目指し、無駄な費用の削減に努めておりますが、原材料費の上昇、運送費、貸倒引当金繰入額や人件費等の費用が増加したことにより、前年同期と比べて減少しました。また、営業外費用で持分法による投資損失を計上しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,455百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は177百万円（前年同期比59.7%減）、経常利益は260百万円（前年同期比50.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は117百万円（前年同期比68.2%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

〔漁業関連事業〕

売上高は10,196百万円（前年同期比7.1%減）となりました。主な要因は、養殖網や海苔網等の受注は増加しましたが、定置網部門の売上高が期末以降へずれ込んだこと及び近海旋網や海外旋網漁業の不漁により旋網部門の受注が減少したことによるものです。利益面は、原材料費の上昇、運送費や人件費等の費用が増加したことにより、セグメント利益は154百万円（前年同期比59.3%減）となりました。

〔陸上関連事業〕

売上高は2,251百万円（前年同期比5.3%増）となりました。主な要因は、施工工事の売上高及び防虫網等の産業用資材の受注が減少しましたが、獣害防止ネット、遊具ネット及び建設資材等の受注が増加したこと等によるものです。利益面は、施工工事の売上高が減少したこと等により、セグメント利益は23百万円（前年同期比62.0%減）となりました。

〔その他〕

前期に引き続き機械の部品加工等の受注が低調に推移したこと等により、売上高7百万円（前年同期比31.8%増）となりました。利益面は、費用の増加により、セグメント損失は0百万円（前年同期は0百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、20,440百万円となりました。その主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ142百万円減少し、13,682百万円となりました。これは、たな卸資産は増加しましたが、売上債権が減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ149百万円増加し、6,757百万円となりました。これは、石巻事業所の有形固定資産が増加したこと等によるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ216百万円増加し、9,253百万円となりました。これは、仕入債務は減少しましたが、短期借入金が増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ28百万円減少し、5,800百万円となりました。これは、長期借入金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ181百万円減少し、5,386百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成30年6月11日に公表いたしました平成31年4月期連結業績予想に変更はありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,107,439	877,280
受取手形及び売掛金	6,867,125	5,976,601
商品及び製品	3,791,609	4,378,503
仕掛品	624,602	651,300
原材料及び貯蔵品	1,237,292	1,189,264
その他	323,510	723,578
貸倒引当金	△126,463	△113,600
流動資産合計	13,825,117	13,682,929
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,372,309	2,368,048
その他(純額)	2,471,625	2,645,410
有形固定資産合計	4,843,934	5,013,458
無形固定資産		
	81,947	68,103
投資その他の資産		
長期営業債権	988,481	1,157,844
繰延税金資産	179,678	160,946
その他	1,254,517	1,199,024
貸倒引当金	△740,258	△841,910
投資その他の資産合計	1,682,418	1,675,906
固定資産合計	6,608,301	6,757,468
繰延資産	93	-
資産合計	20,433,512	20,440,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,778,639	3,136,127
短期借入金	3,729,192	4,965,099
1年内償還予定の社債	100,000	-
賞与引当金	235,927	104,650
その他	1,193,642	1,047,942
流動負債合計	9,037,400	9,253,819
固定負債		
長期借入金	4,958,686	4,884,821
長期末払金	51,000	31,081
役員退職慰労引当金	187,602	221,382
退職給付に係る負債	483,894	498,668
繰延税金負債	107,103	114,523
その他	39,779	49,583
固定負債合計	5,828,066	5,800,061
負債合計	14,865,466	15,053,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,378,825	1,378,825
資本剰余金	510,292	510,292
利益剰余金	3,613,542	3,601,301
自己株式	△17,544	△17,644
株主資本合計	5,485,115	5,472,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,126	△29,905
為替換算調整勘定	△110,044	△197,524
その他の包括利益累計額合計	△54,917	△227,430
非支配株主持分	137,847	141,173
純資産合計	5,568,045	5,386,517
負債純資産合計	20,433,512	20,440,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成31年1月31日)
売上高	13,117,511	12,455,340
売上原価	10,518,026	9,944,577
売上総利益	2,599,484	2,510,762
販売費及び一般管理費	2,159,578	2,333,495
営業利益	439,906	177,267
営業外収益		
受取利息	19,880	15,486
受取配当金	8,498	8,867
保証債務費用戻入額	6,269	78,148
持分法による投資利益	38,363	-
為替差益	41,273	-
補助金収入	-	39,999
その他	73,094	54,576
営業外収益合計	187,379	197,079
営業外費用		
支払利息	68,697	59,246
手形売却損	11,666	10,172
持分法による投資損失	-	14,633
為替差損	-	11,169
その他	22,662	19,112
営業外費用合計	103,026	114,334
経常利益	524,259	260,012
特別利益		
固定資産売却益	155	-
特別利益合計	155	-
特別損失		
解体撤去費用	2,016	-
固定資産除却損	420	-
投資有価証券評価損	1,000	-
PCB処理費用	250	-
特別損失合計	3,687	-
税金等調整前四半期純利益	520,727	260,012
法人税、住民税及び事業税	74,486	96,850
法人税等調整額	71,229	42,377
法人税等合計	145,715	139,228
四半期純利益	375,011	120,783
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,589	3,336
親会社株主に帰属する四半期純利益	369,422	117,447

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成31年1月31日)
四半期純利益	375,011	120,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,347	△85,042
為替換算調整勘定	14,766	△75,752
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,662	△11,727
その他の包括利益合計	23,452	△172,522
四半期包括利益	398,463	△51,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	392,863	△55,064
非支配株主に係る四半期包括利益	5,600	3,325

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,974,558	2,137,256	13,111,814	5,696	13,117,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,974,558	2,137,256	13,111,814	5,696	13,117,511
セグメント利益又は損失(△)	378,910	61,622	440,532	△626	439,906

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間より、有限会社吉田漁業部の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

これにより、当第3四半期連結累計期間は前連結会計年度の末日に比べ、「漁業関連事業」のセグメント資産が、227,435千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「漁業関連事業」のセグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、有限会社吉田漁業部の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において16,291千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年5月1日至平成31年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,196,698	2,251,131	12,447,829	7,510	12,455,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,196,698	2,251,131	12,447,829	7,510	12,455,340
セグメント利益又は損失(△)	154,260	23,425	177,685	△418	177,267

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。